



秋山 政明 議員

高齢者が安心して暮らせるまちづくりの現状と今後の具体策について

問 市長が掲げた公約のうち、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに関して、市のこれまでの現状と対策、市長が考える新たな対策について問う。始めに市の現状について①高齢者が安心して暮らせるまちづくりの考え方②介護施設待機者解消に向けて行っている施策について③老老介護ゼロ化に向けて行っている施策について問う。

答（健康福祉部長） ①古河市高齢者いきいきプランで、重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができることを基本理念としている。②介護保険事業計画に基づき、特別養護老人ホーム590床が整備済である。さらに90床を整備予定である。③介護施設整備を計画し、施設入所の拡大を進めている。在宅介護サービスも対策として実施している。

問 市長が考える具体的な対策について①高齢者の社会参加の機会をどのように創出するのか②新たな発想で介護施設待機者の解消に努めるとあるが、その具体策について③老老介護ゼロの実現可能性とその具体策につ

いて問う。

答（市長） ①社会参加は特に限定されず、多くの事業や活動で展開されるものである。活動の場を創出し、支援していきたい。②介護従事者不足解消のため、施設へ研修や講座案内等の情報提供を行う。介護従事者の負担軽減のためのロボットの導入や関係機関と連携し、待機者ゼロを目指したい。③実現可能性がゼロでないと感じており、施策を進めたい。世帯ごとに必要な支援は異なる。十分検討したい。



長浜 音一 議員

市長の教育政策について

問 ①市長の古河市の学校教育に対するビジョン②どんな考え方をもち目標達成に向かうのか。③ICT教育におけるプログラミング、プレゼンテーション、アクティブラーニング等の有効性に関する見解は。

答（市長） ①2020年施行の次期学習指導要領にのっとり取り組んでいきたい。②豊かな心と将来への夢を育むための基盤とな

る道徳教育の充実や郷土愛の育成に取り組むたい。③実現に必要なICT機器の環境整備、指導者育成のほか、教職員研修体制の充実に取り組むたい。

今回の市長選を視る

問 ①選挙公報等からの「はりや力5つの約束と3つの改革+1」について「子育て支援と豊かな教育の実現」「先導的プロジェクト」「産業文化拠点の整備」「入札制度」等、合併後11年間の市政運営の評価と選挙公約とした意図、その背景について、および今後の具体的な取り組みと進め方は。②市長選挙時の行き過ぎた選挙運動、特に街頭演説やチラシ配布、SNS上で人権侵害等はなかったか。

答（市長） ①市民の夢がかなうまちづくり実現のため、いずれも任期期間を目安に実施する考えである。各項目は市民初め、地域や国、県と連携、協力をしていかなければならない。事業実施の可能性を見極め、方針を打ち出していく。公平性、整合性を鑑み、他自治体例や財源確保も視野に優先順位を決め、取り組むたい。②特段の人権侵害はなかったものと認識している。



信憑性に欠ける中傷ビラ（一部議員発行）